

試算条件 住宅(2023年12月現在)

※消費税率10%で試算しています。
※このページには、カタログ中のCO₂削減量と、節約金額についての算出条件を示しています。
※算出数値は下記設定および試算条件に基づくものであり、記載通りのCO₂削減量・節約金額を保証するものではありません。

試算条件共通項目

- 年間使用日数=365日
- 使用料金水道=265円(税込)/m³ ※(一社)日本バルブ工業会より 電気=31円(税込)/kWh ※(公社)全国家庭電気製品公正取引協議会より ガス=179円(税込)/m³ ※(一社)日本バルブ工業会より
- CO₂換算係数:[水]=0.49kg/m³ ※(一社)日本バルブ工業会より [電気]=0.463kg/kWh ※(一社)日本電機工業会より [ガス]=2.23kg/m³ ※(一社)日本バルブ工業会より
- ガス発熱量:45MJ/m³ ※(一社)日本バルブ工業会より

トイレ

トイレ試算条件共通項目

- 使用人数=4人家族(男性2人、女性2人)
便器使用回数=(大1回/人・日、小3回/人・日)※1
※1 [省エネ・防犯住宅推進アプローチブック]より
ウォシュレット使用回数=16回/日(大4+小(女性8+男性4))※2
※2 省エネ法(2012年度基準)より

最新節水便器

大小洗浄を使い分けた場合に試算

<比較対象(従来便器)>
1999~2004年商品(CS80B)
洗浄水量=大8L/回 小6L/回の便器

ウォシュレット

消費電力=省エネ法(2012年度基準)に基づいて算出
湯沸かし方式などの種類別の算定式により、便座部は季節別、温水部は年平均で算出したものです。タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間(7.7時間)で算出しています。

<比較対象(従来ウォシュレット)>
1997~2009年商品(TCF771)
消費電力=256kWh/年(省エネ法(2012年度基準)に基づいて算出)

洗面所

水栓

(従来水栓の場合)年間水使用量=約9,454L 年間ガス使用量=約30.5m³
※[国研]建築研究所 平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)における、「東京・4人世帯」の条件にて算出。

タイプ	仕様(削減率)
従来	整流吐水シングル混合水栓※1
①節湯C1	水優先吐水機能あり(9%)※2
②エアインシャワー	20%※3
①②	①と②の組み合わせ(27%)

- ※1 1989~1997年商品(TL181A)
- ※2 住宅・建築物の省エネ基準にて定められた節湯水栓の構造に基づく。(詳細 >>> 434ページ)
- ※3 当社比。手洗い時に使用する水量を比較したものであり、使い方によって効果異なる場合があります。

エコミラー

消費電力量=0kWh/年

<比較対象(従来ミラー・くもり止めヒーター付き)>
1990~1998年商品(クリアIIシリーズ)を想定
消費電力量=定格電力0.03kW×エコミラー使用時間1023.25h/年※1=30.7kWh/年
※1 平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説 II 住宅の居住人数4人における1F洗面照明設備の使用時間率

LED照明

消費電力削減量kWh/年=(【従来の蛍光灯(安定器式)】定格電力0.024kW-[LED照明]定格電力)×洗面所照明使用時間1023.25h/年※1
(ワイドLED照明)11.26kWh/年=(0.024kW-0.013kW)×1023.25h/年
※従来の蛍光灯【安定器式:1990~1998年商品(クリアIIシリーズ)を想定】との比較。
※試算は開口750mmの場合です。

LED照明の定格電力:LED照明0.0044kW
消費電力削減量kWh/年=(【従来の蛍光灯(インバーター式)】定格電力0.012kW-[LED照明]定格電力)×洗面所照明使用時間1023.25h/年※1
(LED照明)7.78kWh/年=(0.012kW-0.0044kW)×1023.25h/年
※従来の蛍光灯【インバーター式:2011~2016年商品(Vシリーズ)を想定】との比較。
※試算は電球1個の場合です。
※1 平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説 II 住宅の居住人数4人における1F洗面照明設備の使用時間率

魔法びん電気即湯器

湯待ち時間:24秒(流量:5.0L/分、1階給湯機から2階洗面化粧台までの配管距離:1.5m(配管径:13A)、瞬間式給湯機の温度立ち上がり時間は含まれません)、給水温度:15℃、沸き上がり温度:75℃、(水栓からの)出湯温度:35℃、出湯量:5L/分、給湯機設定温度:42℃、家族構成:4人家族、年間使用日数:365日、使用量:[国研]建築研究所 平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)における、「東京・4人世帯」の条件にて算出。

<比較対象(従来即湯器・即湯キット)>
2002~2012年商品(品番 REQ03)

浴室

魔法びん浴槽

「魔法びん浴槽」はJIS高断熱浴槽の基準を満たしています。(ブローバスSXII付き、エアロー-II付き、水中照明III付きを除く)
※JIS基準:浴槽周囲温度10℃、浴槽湯量は深さ70%、断熱ふろふたを閉じたままの状態での4時間後の温度低下が2.5℃以下
注意:ふろふたを使用しない場合や浴槽内のお湯を循環させて配管の凍結を防止する追いだし付き給湯機をご使用の場合は、浴槽の湯温がカタログ表示値より低下します。

使用人数=4人家族 使用回数=入浴1回/人・日、追いだし1回/日
浴槽年間使用日数=335日※1 昇温条件=1.88℃昇温(中間期想定)
水使用量=お湯はり量(深さ70%・210L)※2
ガス使用量=水使用量×ガス消費量換算係数(1.162E-0.4m³/kcal)×1.88℃昇温※3
※1 [国研]建築研究所 平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)にて算出。
※2 [JIS A 1718]より
※3 [省エネ・防犯住宅推進アプローチブック]より

水栓

キッチン水栓

(従来水栓の場合)年間水使用量=約35,806L 年間ガス使用量=約115.3m³
※[国研]建築研究所 平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)における、「東京・4人世帯」の条件にて算出。

タイプ	仕様(削減率)
従来	整流吐水シングル混合水栓※1
①節湯A1/A	手元一時止水機能あり(9%)
②節湯B	5L/分以下節水シングル(17%)
③節湯C1	水優先吐水機能あり(9%)
①②	①と②の組み合わせ(24%)
②③	②と③の組み合わせ(24%)
①②③	①と②と③の組み合わせ(31%)

※節湯A1、C1の仕様は住宅・建築物の省エネ基準にて定められた節湯水栓の構造に基づく。節湯A、Bの仕様は(一社)日本バルブ工業会節湯水栓の定義と節湯種類および節湯効果に基づく。(詳細 >>> 434ページ)
※1 1985~1997年商品(TK231)

浴室水栓(シャワー)

(従来水栓の場合)年間水使用量=約58,690L 年間ガス使用量=約174.1m³
※[国研]建築研究所 平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)における、「東京・4人世帯」の条件にて算出。

タイプ	仕様(削減率)
従来	サーモスタット混合水栓+10L/分シャワー※1
①節湯A1/A	手元一時止水機能あり(20%)
②節湯B1/B	8.5L/分以下節水シャワー(15%)
①②	①と②の組み合わせ(32%)
③コンフォートウエアシャワー/エアインシャワー	6.5L/分(35%)
①③	①と③の組み合わせ(48%)

※節湯A1、B1の仕様は住宅・建築物の省エネ基準にて定められた節湯水栓の構造または性能に基づく。節湯A、Bの仕様は(一社)日本バルブ工業会節湯水栓の定義と節湯種類および節湯効果に基づく。③は社内モニターによる参考値。(詳細 >>> 434ページ)
※1 1994~1997年商品(TM245CS)

洗面所水栓

(従来水栓の場合)年間水使用量=約9,454L 年間ガス使用量=約30.5m³
※[国研]建築研究所 平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)における、「東京・4人世帯」の条件にて算出。

タイプ	仕様(削減率)
従来	整流吐水シングル混合水栓※1
節湯C1	水優先吐水機能あり(9%)※2

※1 1989~1997年商品(TL181A)
※2 住宅・建築物の省エネ基準にて定められた節湯水栓の構造に基づく。(詳細 >>> 434ページ)